

News Release

2018年12月21日

日立キャピタル株式会社
日立キャピタル損害保険株式会社

日立キャピタル損害保険がグラミン日本の賛助会員に加盟

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)のグループ会社で、損害保険の引受を行う日立キャピタル損害保険株式会社(取締役社長:三浦 一也/以下、日立キャピタル損保)は、2018年12月11日、一般社団法人グラミン日本(代表理事:菅 正廣/以下、グラミン日本)の賛助会員に加盟したことをお知らせいたします。

グラミン銀行の日本版として設立されたグラミン日本は、貧困や生活困窮の状態にある方々を対象に低利・無担保で少額の融資を行い、資金用途を起業や被雇用に有効な知見・資格を取得する目的等に限ることにより、貧困から脱却し自立することを支援するマイクロファイナンス機関です*1。

日立キャピタル損保は、社会のニーズに合った保険・特約の開発を通して、主に「健康」「福祉」「働きがい」などの観点から、企業や従業員の抱える課題解決の支援に積極的に取り組んでいます。この度、日立キャピタル損保は、グラミン日本のめざす姿に賛同し、事業パートナーとして賛助会員に加盟しました。本加盟を契機に、保険の分野にて生活困窮の状態にある方々の自立に貢献する事業の創造を、グラミン日本と連携して進めて参ります。

今後も日立キャピタルグループは、SDGs*2をはじめとする社会の期待に真摯に向き合い、パートナーとの連携をさらに強化することで、社会の課題解決と発展・成長への貢献をめざして参ります。

*1 出典:グラミン日本 公式ウェブサイト

*2 Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標) 2015年「国連持続可能な開発サミット」において、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択。17の目標と169のターゲットからなる。

■グラミン日本について

グラミン日本は、貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会の実現をめざし、2018年9月13日に設立されました。日本の貧困ライン以下の生活困窮の状態にあり、働く意欲と能力のある方々を対象に、資金用途を就労による所得創出目的に限定した融資を行います。グラミン銀行のビジネスモデルは、先進国でも貧困からの脱却に効果をあげており、米国版のグラミンアメリカでは、貧困の状態にある人々に資金を融資し、小さなビジネスをスタートさせることで自立を促しています。グラミン日本は、グラミン銀行の手法を踏襲しながら、就労支援や資金用途の観点*3から、日本の実態に合った方法で事業を展開します。

*3 グラミン日本の特徴として、資金に加えて就労支援をワンセットで提供することや、就労のためのスクール費用や、資格取得費用なども資金用途として認める点が挙げられる。

■グラミン銀行について(グラミン日本 ウェブサイトより)

ムハマド・ユヌス博士により、1983年バングラデシュに設立された銀行。5人一組のグループ融資を行い、毎週センターミーティングを開いて連帯責任のスキームの下借りたお金を返済します。貧困層の自立を支援した功績により、ユヌス博士とグラミン銀行は2006年にノーベル平和賞を受賞しました。借り手の97%は女性で、貧困・生活困窮者に無担保で融資を行い、ほとんど貸倒れの無い実績を上げています。

■照会先

日立キャピタル損害保険株式会社

商品企画第1部 [担当:安松]

〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号

TEL:03-5276-4789(直通)

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:関、伊藤]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 3 番 1 号

TEL:03-3503-2118(直通)

日立キャピタル損害保険株式会社

経営企画部 [担当:田多野、真弓]

〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号

TEL:03-5276-5364(直通)

以 上